

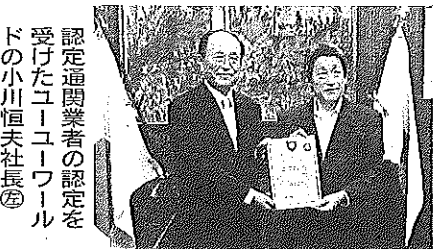
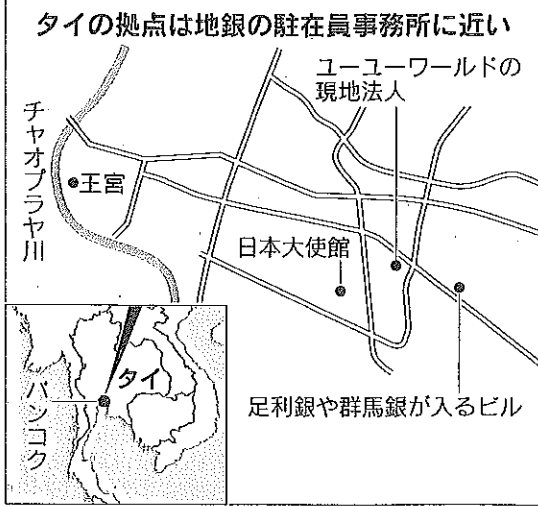
タイに物流・貿易の現法

通関事業者認定 テコに

ユーユーワールド

物流業のユーユーワールド(宇都宮市)はタイに拠点設ける。現地企業と合併で「Y Y W (THAILAND)」を設立し、19日にバンコクの事務所の開所式を開く。足利銀行など地元の地方銀行が拠点を置き、地域企業も進出しているタイで取引拡大を狙う。このほど国内で取得した、安全管理などの体制が整った通関事業者の認定もテコにして、物流・貿易業を加速する。

地銀のネットワーク生かす



認定通関事業者の認定を受けたユーユーワールドの小川恒夫社長(左)

同社が海外にグループ企業を持つのは香港、中国・大連、モンゴルに続

き4社目。タイ法人はユーユーワールドの社員1人が社長として赴任し、現地で従業員4人を雇い5人体制で運営する方針だ。運送や保管など物流のハード面は業務提携したヨーロッパ系の物流企業に任せる。ユーユーワールドの小川恒夫社長は「東南アジアでは産業・経済の発展はタイが一番。企業も集中している」と話す。日系企業向けの自動車部品や工場設備の部品の取り扱いを中心とし、現地からの農産物などの輸入も

行いたいという。初年度は4千万〜5千万円の売り上げを目指す。バンコクでは2016年8月に群馬銀行が、17年12月には足利銀行が駐在員事務所を開き、取引先企業の海外進出を後押ししている。ユーユーワールドは地銀が持つネットワークも生かして現地の取引先を開拓する考えだ。

同社は今月8日、貨物の安全管理や法令順守の体制が整った通関事業者を認定する「認定通関業者(AEO)」に認定された。輸出入の手続きが簡素化されるほか対外PR効果も期待でき、物流・貿易業の拡大に弾みがつく。

小川社長は「タイから近隣諸国、あるいはヨ

ロッパやアメリカに物流官市に新たな物流拠点 業拡大を図っている。AEO認定も追い風に海外を展開していきたい」と「平出総合物流センター」をオープンするなど、事ビジネスを拡大する。